

『船を浮かばせたい!』 4歳児 7月



保育者の思い

遊びの振り返りでは、すぐに保育者が答えを言うのではなく、子どもたちの話し合いを見守ったり、問いかけをしたりして、子どもたちならではの自由な発想や意見を引き出せるように関わることを意識しています。

色々やっていくうちに自分なりに深く掘るための「良い方法」を見つけ、考えたり工夫したりしながら進めていく子どもたちの姿に感心しました。

保育者も一緒に船の下に手を入れて、「ほんとだ浮いてる!」と声をかけ、子どもたちの船が浮いている、という嬉しさに共感しました。

それぞれのイメージを認め、自分なりの面白さを見つけて遊ぶ楽しさをたくさん味わってほしいと思っています。

エピソード

数日前に一人の友達がたらいを船に見立てて遊んでいた姿を見て興味を持った子たちが、船遊びを本格的にはじめました。前日の遊びの振り返りで出た、「船を浮かばせるには地面を深くしたらいい」という話から、「こうしたらいっぱいほれるで!」と、シャベルをドリルのようにぐるぐると回して掘ってみたり、「これめっちゃ楽やわ」と言って椅子をもってきて座りながら掘ったり、友達同士で気づいたことを伝え合いながら深くなるまで一生懸命掘っていました。ある程度掘れてきたので、船を浮かべることにしました。子どもたちは大興奮で船の中に入ったり、手を船の下に入れて「指入った!浮いてるで!」「こっちは下(地面)についてる」と浮かんでいるかどうかを確認し合ったりしていました。また、「船の近くには山があるやろ?」と言って隣で山を作ったり、船の中に椅子をおいて運転席に見立てたりして遊んだりもしていました。

子どもの学びや育ち

- ・自分なりの掘りやすい方法を考えたり試したりする。
- ・気づいたことを友達に伝えたり、友達のアイデアを受け入れて遊びに取り入れたりする。
- ・友達と一緒に取り組む楽しさを感じる。
- ・浮く、沈むなどの物の性質に興味を持って、自分なりに考えたり試したりすることを楽しむ。
- ・たらいを船に見立て、船のイメージをふくらませ想像する。

家庭だったら...

子どもたちは、面白い発想やアイデアをたくさん持っています。普段何気なく見ている子どもたちの、なりきり遊びやごっこ・見立て遊びなどを大人も一緒に楽しんで見てみると、思いもよらない子どもの発想や考えなどを知ることができたり、その面白さに触れることができるかもしれません😊